

2008年1月～2012年12月に審査腹腔鏡または開腹手術を受けた方へ

研究：「腹膜播種及び腹腔洗浄細胞診陽性胃癌を対象とした多施設共同後向き観察研究」

の実施について

1. 本研究の意義および目的

腹腔鏡内洗浄細胞診陽性胃癌、腹膜播種の患者さんを対象とし、その治療成績や治療内容を調査することが目的です。今回の研究を通じて得られる治療成績や治療内容は、今後の治療開発における重要な理論的根拠となります。また多施設共同研究とすることで、多数例での検討が可能となります。

2. 研究の方法

全国多施設の対象患者さんの診療録から、治療法(手術、化学療法)や治療後の経過等のデータ収集を行い、臨床情報を研究事務局へ送ります。データ解析は国立がん研究センター中央病院消化管内科の研究事務局が行います。

3. 試料等の保存および使用方法について

集積した資料は、連結可能匿名化したデータをパスワード付USBにて適切に保管し、本研究以外で使用することはありません。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究期間は、当院実施承認後～2018年12月末の予定です。予定症例数は42病院から約1,000例を集めます。当院では約15例の予定です。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表いたします。

6. 研究の開示について

この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画、方法、および結果についての資料を見ることができます。希望される場合は担当医師にお伝えください。

7. 個人情報に関して

個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定されることはありません。

8. 本研究への参加を拒否する場合

本研究への参加を拒否される場合は、研究対象から除外いたします。下記（10）連絡先までご連絡ください。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

【研究機関】 国立がん研究センター 中央病院 胃外科 / 消化管内科

【研究責任者】 片井 均

10. 連絡先

〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲 160

国立病院機構 四国がんセンター 消化器外科 羽藤 慎二

TEL: 089-999-1111 FAX: 089-999-1100

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい
